

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

新年度を迎え、皆さんの薬局にも新社会人は入ってきましたか? メディセレでは3年ぶりに入社式を行い、東は東京、西は広島から各校メンバーが集まりました。

3月29日に「薬剤師の養成及び質向上等に関する検討会」が開催され、都道府県別の薬剤師偏在指標が報告されました。これによると、地域での薬剤師(病院+薬局)が足りない県の1位は福井、2位は青森、3位は富山となっていました。福井が1位なのは県内に薬学部がないことが原因かもしれません。また、2036年の将来推計偏在指標では、最も値が低いのは福井、次いで沖縄、富山などの順で、青森には県内に薬学部があるからかワーストからは抜け出していました。

今年1月に文部科学省は、2025年度以降の薬学部の新設や定員増員を抑制する方針を発表しました。ただ、地域の薬剤師不足の解消につながる取り組みが認められたケースは例外的に新設が可能であるとしており、実際に沖縄に薬学部を新設する話が進んでいると聞いています。

ちなみに現在、地域での薬剤師が多い都道府県の1位は東京、2位神奈川、3位兵庫と福岡で、2036年の推測では1位は東京、2位は兵庫と徳島、4位は広島でした。今後は毎年9,500人程度の薬剤師が増えるという試算もあることから、薬剤師過剰時代に突入するとはいわれる中、ともに知識と人間力を磨いて生き残っていきましょう。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子